

02-00 講評会

1. 講評会の目的

- ・会の目的(会則第3条)にあるように、講師の指導の下、会員一人ひとりの写真表現に磨きをかけるための技術の向上を目指すとともに、会員相互の親睦を図ることによりフォトコミュニケーションの輪を広げることを目的とする。
- ・毎月講評会を実施し、各会員がプリント作品を持ち寄り講師の評価を受け、それを他の会員も見聞きし、質問等を通じて自分自身の写真表現や技術の向上をめざすところにある。

2. 講評会の内容

1) 講師との調整で毎月第3土曜日の午後に開催することを基本としている。(会員総会議案)

- ・出席する会員は、A4以上のプリント7枚(以内)を持参し、出席簿記載の先着順に掲示して講師の評価を受ける。

- ・評点は、講師独特のやり方で大きな「花丸」が評点。「大大」は花丸2個でまずまずの出来を表現、「大大大」は花丸3個でフォトコンに出せるレベルということである。「大大大」を超える「大4つ」と評価されるケースもあるが年に数点あるかないかである。

2) やむを得ず欠席(用事、体調)する場合は、講評会には参加できないがプリント送付による講師の講評を受けることが出来るシステムがある。プリント5枚(以内)を講師に送り、音声データで講評を受ける仕組みで、年会費を無駄にしないよう配慮されている。(具体的には毎月の「講評会開催案内」に記載される。)

3. 講評会開催の流れ

1) 毎月の開催案内は2週間前までに担当運営委員から会員に案内される。(年間スケジュールは決まっている。)

- ・事前に運営委員間で開催案を確認し、追加事項、変更事項等があれば追加、修正を確認の上、会員宛発信する。

2) 当日、担当運営委員は講評会が行われる武蔵小杉エクラストワーに13:30頃入館し1階の受付で鍵・アンケートを受け取り、講師居室から用具等を受け取り会場(724コミュニティルーム)に搬入し、会場を準備する。

- ・他の運営委員並びに早く到着した会員は会場準備(机・椅子、名札、出席簿等)に協力する。

3) 担当運営委員は、会員の入館を補助(インターフォン操作)するとともに、講評を受ける順番を知らせる等、講評会がスムーズに進むように全体運営を取り仕切る。

4) 講評時間は一人7~8分を目安と設定し、タイマーを6分にセッティングして講評時間が平等になるよう全体進行を管理する

5) キヤノンフォトサークル事務局に活動報告兼講師指導報告書を作成し、キヤノン事務局担当運営委員経由で報告をおこなう。

- ・カメラまたは携帯で会場風景を写して、キヤノン宛報告書に添付する。

6) 講評会終了後、机・椅子を元に戻して施錠し、備品・用具等を講師居室前まで戻す。そして、マンション受付に鍵、アンケートを戻して完了する。

- ・他の運営委員の協力が必要となる。

4. 「私の一枚」の会のホームページへの掲載(会員間の閲覧)

1) 高評価作品、特徴的作品の画像やデータとともに講師の音声講評を繰り返し聴取し、撮影者の意図を知り、会員間相互に良い作品、面白い作品を学ぶことにより写真技量の向上を目指すことを目的としている。

2) 毎月の講評会で「大大大」評価を受けた作品もしくは他にない面白い作品等を「私の一枚」として提供してもらい、画像・作品データ・音声講評の3点セットでHP(ホームページ)に掲載することで会員はいつでも閲覧できる。(会員限定)

5. 講師指導料

- ・講評会の講師指導料として、当月の会員数×2,000円を支払う。(講評会出席者数ではない)

- ・その他、講評会会場賃借料をクラブ会計より支払う。(講師居室のエクラストワー内のコミュニティルームを利用していることから講師に請求が来るので、講師に支払うもの)